

④ ^{ひがしおまた}東尾岐小学校のまわりのようす



▲東尾岐小学校のまわりのこう空写真（平成5年10月さつえい）

東尾岐地区は、町の南側にあり、ほとんどが山地です。いくつかの
さわを集めて宮川の支流である東尾岐川が流れています。そのさわに
沿って県道が通り、田や畑が山の斜面まで切り開いて広がっています。
それでも田や畑がせまく、そして高いところにあるため、むかしは、
山の仕事の方がさかんに行われていました。いまでもきのこさばい
やせい材所があり、また山を守る「財産区」というものがあります。

学校がある田中という集落には、公民館や消防団のとん所、朝立神
社そして、ある会社の「パターゴルフ場」をそなえた保養しせつなど
もあります。東尾岐地区には、18の集落があります。その中には、歴
史に関係ある名前がつけられていて、たとえば、むかし、関所があっ
た「関根」武士が馬術の練習をした「馬場」むかしの役人が住んでい
た「地頭方」などです。東尾岐地区にも、いくつかの工場（おわん工
場、部品工場など）がありますが、高田地区や会津若松市内の工場や
会社にもつとめる人が多く、自家用車を利用して通きんしています。